

# SUGIYAMA

Sugivamaiushi kougyou

40期（2020年9月～2021年8月）

発行日：2021年11月27日

## *Environmental Management Report*

(有)杉山樹脂工業

# Menu

- ① 組織の概要
- ② 対象範囲
- ③ 環境経営方針
- ④ エコアクション21組織図
- ⑤ 環境経営目標・環境経営目標の実績及び評価
- ⑥ 環境経営計画・取組内容・結果及び評価、次年度の計画
- ⑦ 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
- ⑧ 代表者による全体評価と見直し・指示

## ①組織の概要

事業所名及び代表者氏名

(有)杉山樹脂工業

代表取締役 杉山 周三

所在地

〒355-0165埼玉県比企郡吉見町上細谷147

TEL:0493-54-2759 FAX:0493-54-1900

Eメール:sugiyama-h@nifty.ne.jp

環境管理責任者氏名及び担当責任者

環境管理責任者

杉山周三

事務局 専務取締役

杉山弘美

事業内容

プラスチック射出成形製品の設計・開発・製造

事業の規模

	本社・工場・倉庫
従業員数	34名
延床面積	921.71 m <sup>2</sup>

## ②対象範囲

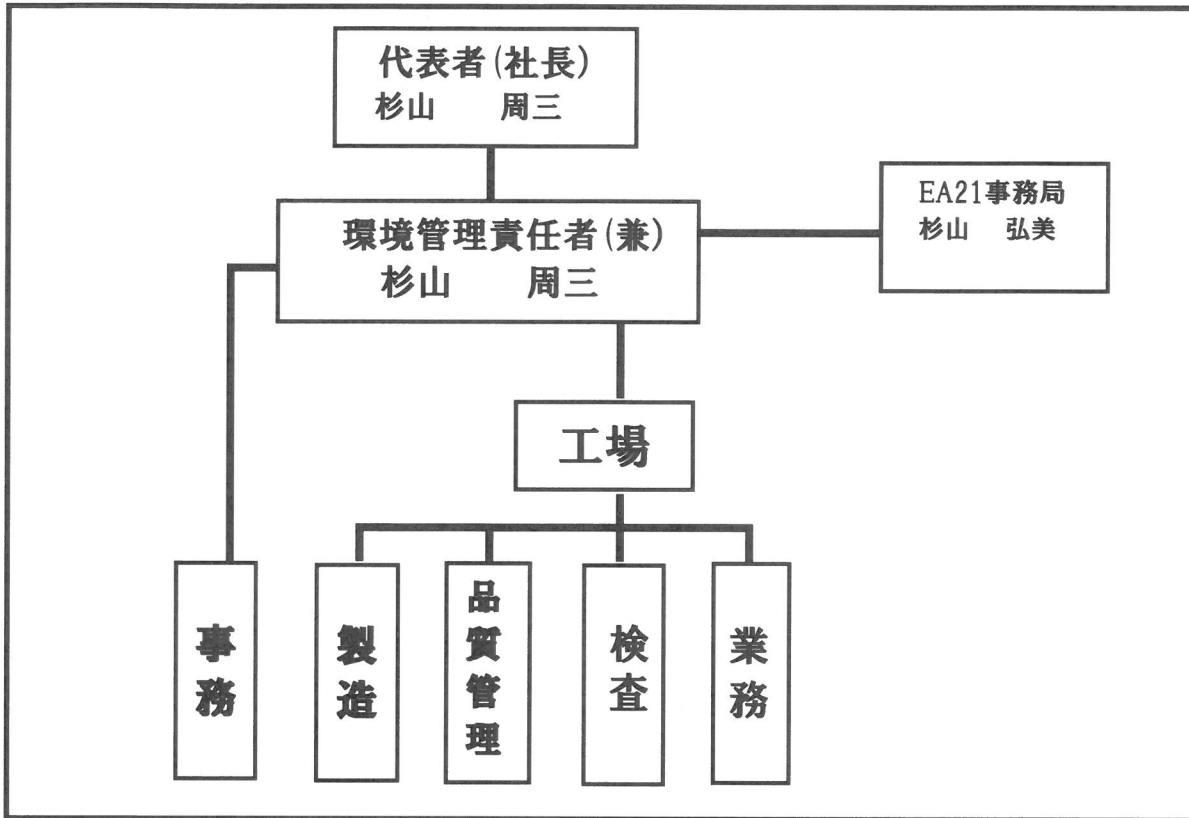
登録組織名 : 有限会社 杉山樹脂工業

対象事業所 : 【本社・工場】〒355-0165

埼玉県比企郡吉見町上細谷147

有限会社杉山樹脂工業

エコアクション21組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営における課題とチャンス の明確化</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人・情報を用意</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムを構築・運用する(代表者からEA21の権限を委任)</li> <li>・実施体制の構築(組織図及び役割・責任・権限)</li> <li>・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標・環境経営実施計画書/実績表の作成</li> <li>・教育・訓練の実施を指示</li> <li>・環境上の緊急事態への準備・対応</li> <li>・環境経営レポート作成</li> <li>・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> <li>・EA21の維持(環境管理責任者の指示を受けて)</li> <li>・環境への負荷及び取組チェック実施</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施</li> <li>・環境関連文書・記録の管理</li> <li>・外部環境情報の窓口</li> <li>・環境経営目標及び環境経営計画の実施・確認・評価、達成状況の報告</li> <li>・環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理</li> <li>・問題点の是正・予防処置実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針を理解し、環境へ取り組みの重要性を自覚</li> <li>・EA21で決められた各自の役割を実施</li> </ul>

### ③環境経営方針

#### 【環境理念】

(有)杉山樹脂工業は、プラスチック射出成型の事業活動において、今日の地球環境問題の現実を強く認識し、限りある資源を大切に活用し、会社全体で、環境負荷の低減を図り、自主的・積極的に継続して環境保全活動に取り組みます。

#### 【基本方針】

- 1.環境関連法規制その他の要求事項を遵守し、  
環境保護活動の向上に努めます。
- 2.省エネにより、CO<sub>2</sub>削減を目指します。
- 3.廃棄物排出量の削減、節水、リサイクルを徹底します。
- 4.環境対応商品の開発・売上に努めます。
5. 会社周辺の清掃活動に取り組みます。
- 6.従業員全員に周知します。
7. 環境経営の継続的改善に努めます

2019年9月30日

有限会社 杉山樹脂工業

杉山 周三

## ④環境経営目標・環境経営目標の実績及び評価

### 中期目標(3年間固定)

	37期 2017/9～2018/8 基準年	38期 2018/9～2019/8	39期 2019/9～2020/8	40期 2020/9～2021/8
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 kWh/kg-CO2	656,134/378,589	1%削減	1%削減	1%削減
・ガソリン L/kg-CO2	6,720/15,603	2%削減	2%削減	2%削減
・軽油 L/kg-CO2	5,926/15,290	1%削減	1%削減	1%削減
・CO2合計 kg-CO2	409,483			
2. 廃棄物排出量削減				
・一般 (t)	4,526	1%削減	1%削減	1%削減
・産業 (t)	-	記録取り	記録取り	1%削減
3. 総排水量削減 (m <sup>3</sup> )	780	1%削減	1%削減	1%削減
4. 環境対応商品(個)	100	105	110	120

※化学物質は使用していない。※電力にCO2排出係数は、0.577kg-CO2/kWh

※産業については、39期データを基準とする

### 40期運用結果(2020年9月～2021年8月)

	基準年度 (37期)	40期目標	40期実績	達成 状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 kWh/kg-CO2	656,134/378,589	649,573/374,803	661,137/381,476	×
・ガソリン L/kg-CO2	6,720/15,603	6,586/15,447	2,562/5,944	○
・軽油 L/kg-CO2	5,926/15,290	5,866/15,137	9,951/25,673	×
・CO2合計 kg-CO2	409,483	405,388	413,093	×
2. 廃棄物排出量削減				
・一般 (t)	4,526	4,481	4,011	○
・産業(基準年39期) (t)	9,230	9,138	18,280	×
3. 総排水量削減 (m <sup>3</sup> )	780	772	736	○
4. 環境対応商品(個)	100	120	0	×

## ⑤環境経営計画・取組内容・結果及び評価、次年度の計画

環境経営計画	取組内容・結果・評価	次年度の計画
<b>二酸化炭素排出量削減</b> <b>(電気)</b> ①全LEDの為、ON/OFFの頻度を減らす。 ②計量器(製品測定)は朝9時～夜5時使用(使用していないときはスイッチオフにする) ③PC帰宅時、オフにする。	①長期不使用の時は100%OFF ②計量器のスイッチオフ実施は100%(製品測定) ③PCオフの実施は100%	継続して実施する。
<b>二酸化炭素排出量削減</b> <b>(軽油)(ガソリン)</b> ①効率的なルートで配送 ②エリア別営業活動の見直し ③アイドリングストップ ④急加速・急停車の防止	①効率的なルートで配送できた。 ②見直し実施出来た。 ③アイドリングストップ実施出来た。 ④急加速・急停止防止実施100%	継続して実施する。
<b>廃棄物排出量削減</b> ①分別の徹底 ②裏面利用	①分別のゴミ箱を多めに配置した。 ②維持できている。	継続して実施する。
<b>プラスチック廃棄物の削減</b> ①製造ロスの削減 ②リサイクル化	①②医療分野の製品が多くなっているが、それに伴い「医療系廃棄物」も多くなっている。これは再利用できない為、今後もプラスチック廃棄物は増える	目標に対して達成する様繋げていく
<b>総排水量の削減</b> ①節水シールの貼り付けとポスター等掲示	①節水シールポスター等、貼り付けた。	継続して実施する。
<b>環境対応商品販売</b> ①環境対応商品開発 ②環境商品も拡販	①環境対応ロケートリングを開発。(金型のキャビティー内の腐食を防止) ②得意先に売り込む。	別のものを考える

## ⑥環境関連法規等の遵守の確認・評価の結果並びに違反、訴訟の有無

### ①対象環境関連法規

環境関連法規等	適応される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守の確認・評価	
フロン排出抑制法	業務用エアコン	簡易点検記録	OK
騒音・振動規制法	合成樹脂用射出成型機	設置届出	OK
廃棄物処理法	一般廃棄物/産業廃棄物	分別の徹底	OK
埼玉県廃棄物条例	一般廃棄物/産業廃棄物	分別の徹底	OK

### ②違反・訴訟等

環境関連の違反・訴訟等は過去3年間ありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去ありません。

## ⑦代表者による全体評価と見直し・指示

:電気の使用量増加は、新たな取引先(医療分野)の受注が増え、稼働率の増加により増えた。また、工場内一定の温度に保たなければならないので、今後も電気の使用量は、増加する見込みである。今年も、省エネ対策の成形機を1台入れ替えたので、今後のデータをとる。ガソリンの使用量は減少しているが、軽油車の使用量は、遠方の客先と、医療分野の客先が増えたことにより配送の頻度が増加した。今後も増加する見込みなので、毎回、適切なルートなど見直す。プラスチック廃棄物は、医療分野などの精密製品はリサイクルが出来なく、今後も増加する見込みであるので、製造のロスの削減に取り組むことを継続する。一般廃棄物は削減できた。水の使用量は、今後、従業員などの増加する見込みだが、節水を意識し取り組む。全体的に増加しているが、仕事に繋がるので仕方がないが、今後も工夫しながら社員全員で目標に向けて成果を上げたい。